

誰一人取り残さない 安全安心なやさしいまちを目指して

Re Start

まちづくり推進課（内線326）

人権感覚を高め お互いを認め合う 人権尊重のまちづくり

人権のまど

まちづくり推進課（内線326）

Vol.16

薬物に手を出す若者

最近、薬物の使用に関する報道が世間を騒がせていますが、薬物依存は再犯に繋がりがやすい要因のひとつとなっています。

比較的手に入りやすいといわれる大麻は、大麻取締法違反で検挙された者のうち、85%が30歳未満の若者です。この若者たちが大麻を使用したきっかけは「誘われた」が77%、動機は「好奇心・興味本位」「その場の雰囲気」が78%を占めています。

また、大麻の危険（有害）性について、「全くない」「あまりない」と答えた者が80%となっています。これは、いかに若者がその危険性を認知せず、気軽に薬物に手を出しているかが分かる驚くべき数字です。

家庭や地域、教育機関など、私たち大人が絶対に薬物に手を出さないよう指導していく必要があります。

※数字は、警視庁「令和4年における組織犯罪の情勢」を参照

12月4日～10日は人権週間

12月10日は人権デー

人権問題や悩み事などでお困りの方は、市の人権擁護委員や岐阜地方法務局多治見支局（☎22-1002）にご相談ください。秘密は固く守られます。

人権擁護委員の特設相談

日時 12月1日(金) 午前10時～午後3時
場所 文化プラザ1階・展示室

令和5年度小学生人権書道コンテスト作品展示

日時 11月16日(木)～22日(水)
場所 市役所1階・多目的スペース

人権啓発キャッチコピー

『「誰か」のことじゃない。』
～虐待 いじめ 差別のない社会へ～

ようこそ手話の世界へ 福祉課（内線217）

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



広がる電話のバリアフリー

「電話リレーサービス」をご存じですか？

このサービスは、聞こえる人と聞こえない人との会話を通訳オペレーターが電話でつなぐサービスです。聞こえる人には「音声」で、聞こえない人には「手話」や「文字」で通訳することで、電話で即時かつ双方向につながりコミュニケーションをスムーズにとることができます。また、24時間365日利用することができます。遠く離れた家族との電話や緊急時の通報をいつでも行うことができます。

※聞こえない人は、電話リレーサービスへの登録が必要です。（聞こえる人は登録不要）

詳しくは、一般財団法人日本財団電話リレーサービスのホームページをご確認ください。



かんたん手話講座 「紅葉がきれいね」

「紅葉」



唇に人差し指を当て
右に引く



親指と人差し指で
つまむように前に出す

「きれい」



左手の平をなでるように、右手の平を滑らせる

